



胃がん検診を受けよう

厚生労働省は8年ぶりに改訂する「胃がん検診ガイドライン」の指針において、バリウムによる「胃X線検査」を従来通り「対策型検診」（公費検診）として推奨することを明らかにしました。

2006年の「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン」では、「胃X線検査」は「対象とする集団の胃がんによる死亡率を減少させる効果がある」と認めていました。

その他の検査方法として、一次検診に用いられる「胃内視鏡検査」、ペプシノゲン法（PG法）とヘリコバクター・ピロリ抗体価検査による「ABC検査」の評価も検討されましたが、国はいずれも「胃がん検診として死亡率減少効果の有無を判断する証拠が不十分であるため、対策型検診としては勧められない」とし、「任意型検診」と評価しました。

ただ、胃がんのリスク要因としては生活習慣（高塩食品の摂取、多量飲酒、喫煙等）のほかに、近年の研究では、ヘリコバクター・ピロリ菌の感染が胃がんに関与しているとされていることから、任意型検診についても今後の研究のなかで新たな評価が期待されているところであります。

今回は、改めて対策型検診として認められた「胃X線検査」の検査方法を紹介します。



今回は、胃がん検診（胃X線検査）の検診車での検査方法を紹介しますよ！

最初に発泡剤を口に含んでから、バリウムを飲んでいただきます。落ち着いてゆっくりと！

ポイント1 あまり顎をあげすぎずにゆっくり飲んでね。（むせ、誤えん防止）

さあ、検査開始！
台の上に立ったら深呼吸！（ゲップはかまなくてね！）

撮影技師さんの指示に従って慌てずに体を動かすんだよ。

①の撮影の前に基本2回転右回りに回るよ。

その後は、左右に動いたり、うつ伏せ、仰向けになったりして、胃の中をいろんな角度から撮影するんだ。

*基本撮影法で8枚の写真を撮影します。

ポイント2 肩の力をぬいて動作ごとに呼吸を整えよう！（めまい、ふらつき対策）

撮影終了！

終了したら下剤をお渡しします。

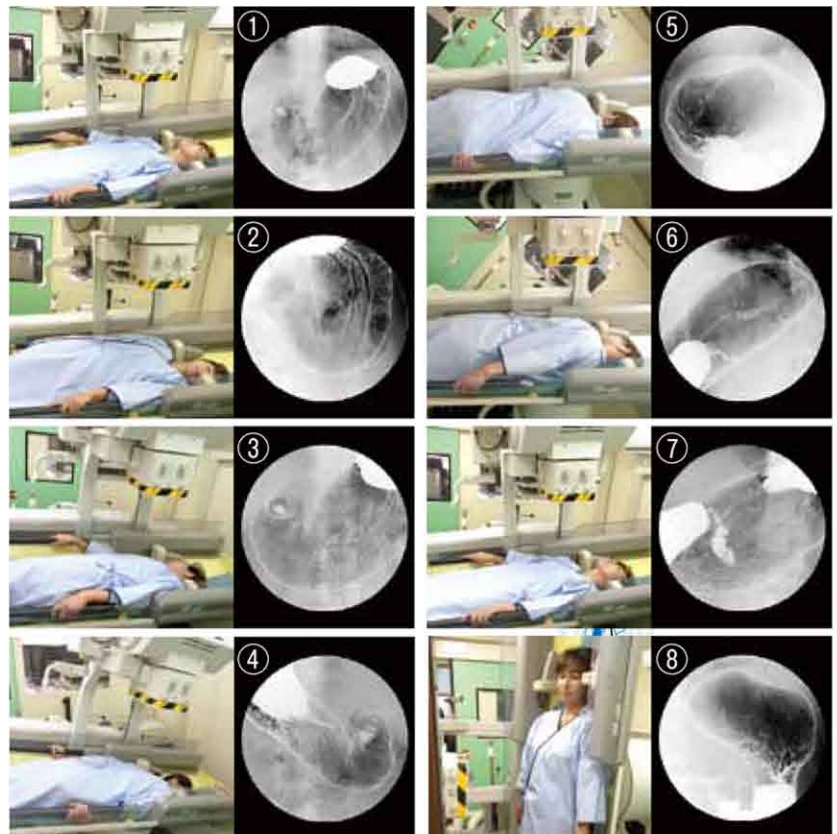
検診車内にウォーターサーバーが設置してあります。錠剤2錠をコップ2杯以上のお水で飲んでください。

便秘気味の方、以前にバリウムの検査後排泄が困難だった方はスタッフに申し出てください。食事でも早めにとって下さいね。

・バリウム ・発泡剤



*対象年齢：40歳以上
*受診窓口：職場での検診
：各市町村案内の住民検診



*撮影法は「日本消化器がん検診学会 胃X線撮影法ガイドラインにおける対策型検診撮影法」を適用しています。



・服用説明書 ・下剤



・ウォーターサーバー

お疲れ様でした。
年に1回は
受診してね！

